



武蔵学園の観測局

武蔵気象観測所 運用開始！

学校法人根津育英会武蔵学園(以下、武蔵学園)は、高等学校・中学校気象部が活動する武蔵気象観測所を擁しており、長年の観測実績から中新井観測所として公的な観測業務を担ってきました。練馬区のアメダスは、同観測所を母体として設置されたものですが、2012年12月にアメダスが移転したのを機に、2013年4月より民間気象台としての観測を再開することになりました(東京管区気象台監修)。

明星電気は、観測所の観測局及び監視局の機材提供・設置工事まで担当しました。観測局は、気象観測装置“WINS”による気温、相対湿度、気圧、風向風速、日照、雨量、積雪深の観測に加え、ネットワークカメラでは連続画像データもリアルタイムに得ることができます。カメラは、約15km離れた東京スカイツリーも捉えることができ、視程の観測などに使用される予定です。これら観測情報は、監視局の解析ソフト“WETS”で処理され、気象部の教育・研究活動や武蔵学園全体のエコ活動(WEB公開・太陽光発電量との比較)等に活用されます。

こうした教育の現場においても明星電気の気象観測装置が役立てられています。

(当社営業担当: グローバル戦略グループ 前田 亮太)



祝辞の挨拶をする齋藤取締役

航空自衛隊浜松管制塔 運用開始

明星電気はこの度、航空機と無線通信による離発着誘導を行う「タワー・コンソール装置 J/FSW-2」を航空自衛隊浜松基地に納入致しました。新管制塔の運用開始に伴い、4月24日に運用開始式が開催されました。

国の防衛と空の安全という重要な任務を負う航空自衛隊では、その管制塔のシステムは機能的、且つ非常に高い信頼性が要求されます。

明星のタワー・コンソール装置は、本来のシステム機能喪失時の不測の事態においても、航空機との通信を最低限確保できるシステムになっており、空と地上のパイプライン役を担っています。

『空の安全』というキーワードを合言葉に、当社はこれからも航空管制システムの進展を目指していきます。

(当社営業担当 気象・防災・制御グループ 津浦 靖弘)


 後列左からJR東日本設備部 神山様、青木次長、明星 齋藤取締役
 前列左から澤村、中里グループ長

東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)様より、感謝状をいただきました

6月10日、明星電気はJR東日本様より、「内陸部および首都圏におけるP波地震計整備」等に貢献したとして、感謝状をいただきました。

明星電気は、内陸部および首都圏におけるP波地震計整備等において、地震計の増設に伴う製作・設置ならびに新幹線早期地震検知システムの各種試験を担当しました。今回の感謝状の授与は、本施策を行うにあたって、関係箇所との綿密な調整により無事故で完遂したこと、JR東日本様の地震に対する安全対策に大いに貢献したことが評価されたものです。

明星電気は、鉄道の地震防災システムの分野での安全・安心にも、さらに貢献していきます。

(当社営業担当: 気象・防災・制御グループ 小林 遼平)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。